
狼につき、策士

きまぐれ屋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狼につき、策士

【Zコード】

Z2274D

【作者名】

きまぐれ屋

【あらすじ】

彼は作家、あたしは編集者。彼のお手伝いをするのはいいのだけど、ここまでするの・・・?!

(前書き)

かなり甘めです。苦手な方はbackをお願いします

「・・・分かんねえ」

丸一日かけて掃除した殺人的に汚かつた部屋は、今は大分マシになつてきている。

台所でコーヒーを煎れていたあたしは、机で頭を抱えているせんせいの元に歩み寄つた。

「なにが、ですか？」

ひょこっと頭を傾けると、一枚の原稿の半分から、どうも進み悩んでいるようだ

「なになに？婦人は・・・

「こりや試すしか、ねえな」

「一え？」

ぼそつと呟いたせんせいの言葉
紡ぐことが出来ずに塞がれた口

「——っんん——」

「試すって、何を・・・?!

腰に巻き付くせんせいの腕と、頭を押さえつけられてこむ手で作られた完全なテリトリー。

あたしは横田で必死になつて、原因であらう原稿を覗き込んだ。

書かれているのは男女の営み
情事を楽しむ主人公であるう男

「——えつーせん・・・ひあつ」

おしゃべりなあたしの口を封じるように、搔き上げられた髪から覗く耳を甘噛みしながらせんせいの手はゆっくり背中を這つた。

ついつい、と移動した手はやがてホックを器用に外す。

ふ、とせんせいが笑つた気がする

露わになつたそこで顔を埋めて。

「～～～」

せんせいの息が、髪が、肌を刺激していくすぐつたい。
せりついた舌が膨らみを愛撫した時にせ、思わず全身が震えた。

「―――つあ」

あたしは無意識に、田の前の服に皺が出来るほど強くしがみついていたのだ。

「一なに? もつと欲しいわけ?」

「ちがー・・・っ」

「一くない、だろ?」

確實に下に向かつてた指が、奥深くへと一気に埋められて

自分でも信じられないくらい高い声で鳴ってしまった。

「ふ、いこす

「一やあ、せさせ

「・・・

何故か一瞬顔をしかめたせんせには、指を抜いて舌を這わせると、あたしをひょいと抱き上げた。

ーえ・・・?

あからさまにあたしは残念な顔をしてしまったのか、こもりとせんせいが笑った。

「安心じゅ、手続きはやるから。ただこじかせじましたこねえ。」

すでに半分腰が抜けてたあたしは、ぎゅっとせんせの首に腕を回して。

連れてこられた先はふかふかなベッドの上だった。

「さて、いっぺい鳴けよ？」

その夜、完成された小説の文面に無いよつた愛撫が繰り返されたのは言つまでもない。

— 小説、関係ないじやない！

(後書き)

初めてコメントをもらつて浮かれた作者が、勢いで書いた作品です
(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2274d/>

狼につき、策士

2010年11月5日21時31分発行